



公益財団法人

National Recreation Association of Japan

日本レクリエーション協会 指導者養成課程認定校研究連絡会議

# ニュースレター

第54号：2021／5月

<事務局>

〒110-0016 東京都台東区台東 1-1-16 ANTEX24 ビル7階

公益財団法人日本レクリエーション協会 総務部内

TEL：03-3834-1091 FAX：03-3834-1095

E-mail：n-rec@recreation.or.jp



## 目次

令和3年度 総会 は書面方式で行います .....	3
令和2年度 幹事会 開催報告 .....	4
課程認定校義務研修について .....	5
令和3年度 新規養成課程認定校のご紹介 .....	6
報告：令和2年 ブロック研修（オンライン） .....	7
令和3年度 全国研究集会について .....	8
日本レクリエーション協会からのお知らせ .....	9
COVID-19 感染症に対応した対応について .....	9
スポーツ・レクリエーション指導者養成など新養成課程追加の受付について .....	9
インフォメーション ガイドンスや授業で活用！ .....	9
オンライン授業での活用もオススメ『おうちで60秒チャレンジ』 .....	10
レクリエーション公認指導者優秀学生表彰受賞者の声 .....	11

### [課程認定校連絡会議]

課程認定校研究連絡会議は、課程認定校相互の連携と都道府県レクリエーション協会との連携を強め、指導者養成の円滑な実施と社会的地位の向上を図る目的で活動しております。レクリエーション公認指導者養成を行う高等教育機関の養成課程主任教員の皆様で構成され、課程認定校相互の情報交換や、全国研究集会やブロック研修会等の研修事業の開催等の各種事業を行っています。

# ご挨拶・2021 に向けて

幹事長 仲野 隆士

学生へのレクリエーション教育に関わられておられる関係各位の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。昨年はコロナ禍による緊急事態宣言が発令され、大学や専門学校では5月の連休明けからオンラインによる授業展開を余儀なくされ、大変ご苦労されたこととお察しいたします。私自身3月から2ヶ月間右膝複雑骨折による手術・入院生活でしたので、早く準備もできず、退院したその日に私専用の最新パソコンを購入し、若手教員のサポートを受けつつ急ピッチで準備に没頭しました。最も悩ましかったのは、実技や演習科目をどうやってオンラインで実施すれば学生たちに興味関心が持たれ教育効果が上るのかという事でした。単なる人真似ではだめだと思い、自問自答しながら一つ一つ解決しリアルタイムの授業を作っていました。おかげで、限界はありましたが自分自身が納得できる授業が展開できました。対面授業に戻ったならば、重要な場面などは録画しておくのも得策かもしれません。何はともあれ、悪戦苦闘の1年間を乗り切った経験は、2年目のオンライン授業に余裕を与えてくれています。皆様も同じではないでしょうか。

新たな日常が求められる社会情勢の中、いかに安全に楽しく継続的にスポーツやレジャー・レクリエーションを行っていくかについては、これまでにない新たな枠組みが求められています。昨年からの1年間を通して培ってきた関係各位の知恵や経験を基に取り組みされた成果を、全国研究集会やブロック研究会等で発表して頂きたいと思います。さらには、課程認定校からの出版物としてまとめ上げる事も検討されるべきだと思っています。協会再度では「レクぼ」の運営、Webサイト「レク資格ガイド」を立ち上げるなど、様々な工夫をしてくれています。我々認定校サイドからも、新たな試みが必要不可欠だと感じております。皆様からのアイデアやご意見をお聞かせ下されれば幸いです。

最後に、幹事会では主に5つの検討プロジェクトを令和2年度の1年間、チームを組んで検討を進めて参りました。検討を引き続き継続すべきもの、ある程度幹事内でのコンセンサスが得られモデル的に進めてきたものなどがございます。令和3年度の総会でお諮りいたしますが、全ての項目を承認の上進めていくことが困難となっています。つきましては、幹事会と協会事務局との連携を強化する形で事を進めていく事を幹事会に一任して頂けないかと考えております。幹事会一同、皆様にとって有益な事業推進を図ってまいりますので、何卒ご理解とご承諾を頂きますようお願いいたします。

## 令和3年度 総会 は書面方式で行います

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和3年度総会も昨年同様に書面総会形式で開催させていただくこととなりました。

議決方法は、専用ホームページにてお願いいたします。なお、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、**6月11日(金)**までに議決をいただきますようお願い申し上げます。

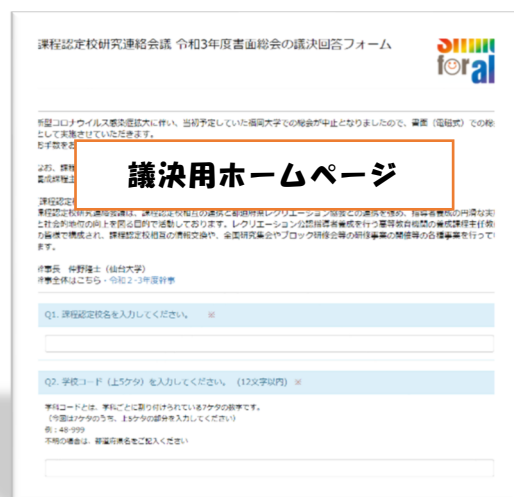
なお、議決権は課程認定校研究連絡会議の議決権は養成課程主任教員(各学校1名の方)にお願いしております。ただし、養成課程主任教員が回答できない場合は、養成課程を代表して科目担当教員または事務担当者の方何れか1名の方が代理にてご議決をお願いいたします。

### ◎議決用ホームページアドレスはこちら

<https://recreation.or.jp/ans/XR1B0JWD11S606585C4EBA40.html>



なお、全国研究集会は、**全国レクリエーション大会 2021 福島大会**の研究フォーラムと連携して開催いたします。(後掲しています)



学生へ案内をお願いします

の学生会員登録がスタート!

たくさんのお遊びや動画コンテンツを見ることができるwebサイト「レクぽ」。公認指導者資格を取得しなければ閲覧制限があるため、すべての情報を見ることができませんでした。

このたび、課程認定校でレクリエーション科目の履修をしている学生が「レクぽ」に学生会員として登録することで、「レクぽ」内のすべての情報を見ることができるようになりました。公認指導者資格を取得しない学生や、資格登録を翌年に控える現在1年生の学生も対象となります。ぜひとも学生会員登録をして、「レクぽ」を100%活用しませんか!!

<https://www.recreation.jp/student>

## 令和2年度 幹事会 開催報告

研究連絡会議の会務（事業と決算・予算）報告と計画、全国研究集会の開催に向けた検討および研究連絡会議の運営上の課題について協議いたしました。

### <令和2年度事業・決算報告>

新型コロナウイルス感染症にともない、非対面で実施された各種事業についての進捗を確認した。特に、令和2年度各検討プロジェクトについての進捗状況などを確認した。

#### ・研究助成および自由時間研究検討

自由時間研究への論文投稿拡大等を目的とした各種検討と研究助成事業の検討

◎検討メンバー(順不同): 涌井 忠昭関西大学(リーダー)、岡山 千賀子徳島文理大学、佐近 慎平新潟医療福祉大学、秦 真人愛知学泉短期大学、立木 宏樹熊本学園大学、原 志津兵庫大学、栗原 拓也静岡英和学院大学

#### ・研修事業（全国・ブロック研修事業）

オンラインでの開催形態などを検討。一環として全国研究集会の研究発表および九州ブロック研修会をオンラインで実施

◎検討メンバー(順不同) 築山 泰典福岡大学(リーダー)、竹森 裕高九州龍谷短期大学、佐近 慎平

#### ・レクリエーション教育・モデル・コア・カリキュラム策定

日本協会、L&R学会と協働でカリキュラムを検討。一環としてヒアリングやアンケート調査を実施

◎検討メンバー(順不同) 松尾 哲矢立教大学(リーダー)、仲野 隆士仙台大学、岡山 千賀子、涌井 忠昭、篠原 俊明東京未来大学

#### ・課程認定校人材養成支援事業の検討

認定校のレク教育力や人材養成力を高める施策の在り方を検討。近畿圏の認定校2校を対象にヒアリング調査も実施

◎検討メンバー(順不同) 奥野 孝昭四天王寺大学短期大学部(リーダー) 高山 昌子大阪国際大学、鎌谷 眞里子鳥取社会福祉専門学校、本多理紗札幌国際大学、植田厚子高知福祉専門学校

#### ・規約 会務運営方法等の見直し

ICTを活用した会務のスリム化など、会員の参画を促進するための会運営方法の検討

◎検討メンバー(順不同) 仲野 隆士(リーダー)、南條 正人東北文教大学短期大学部

### <次年度事業計画および予算計画>

全国研究集会は、9月に開催される全国レクリエーション大会 2021 福島大会の中で開催することとした。総会は、昨年度同様に書面方式で実施することとした。ブロック研修は、オンラインと対面での企画を検討し、所属ブロック以外のプログラムにも参加できることとする。

その他、検討プロジェクト「課程認定校人材養成支援事業の検討」で協議した2事業を試行的に実施することとした。

## 令和3年度新規事業方針

### <訪問支援事業>

- ① 令和元年度以降に課程認定校となった認定校の養成課程主任教員や、新たに養成課程主任が変わった学校を対象に、養成課程運営等に関するサポートを目的とした訪問やオンラインによる養成課程充実に向けたアドバイスなどを行う支援事業。
- ② 新たに認定校を希望する候補校への訪問やオンラインによるアドバイスなどを行う支援事業。

### <教育助成事業>

令和2年度のレクリエーション公認指導者養成実績の高い認定校の養成課程主任教員を対象とした教育活動助成。

※新規事業のご案内は、対象となる認定校に改めてご連絡をさせていただきます。

## 課程認定校義務研修について

今年度は、以下の事業を義務研修対象事業として指定いたします。オンラインでの開催やブロックを超えて参加いただくこともできますので、主任教員または科目担当教員を派遣いただくようお願いいたします。



### ○第75回全国レクリエーション大会 in 福島

日時 9月17日(金)～19日(日)  
会場 福島県内主要施設  
※レクルー「5月号」にてご案内。  
後頁にも詳細を掲載しております。

### ○ブロック研究集会

全国研究集会が開催される「北海道・東北」ブロックを除く5ブロックにて開催します。

- ・関東・甲信越 調整中：事業実践と研究との橋渡しについて検討する研修会を検討中
- ・東海・北陸 検討中：内容未定
- ・近畿 調整中：セラピューティックレクリエーションをテーマとした研修会を検討
- ・中国・四国 検討中：九州・沖縄ブロックと合同開催の研修会を検討
- ・九州・沖縄 2022年2月末  
山口県：徳山大学

### ○「レクリエーション教育の力を高めようスキルアップ講習会」

新たに課程認定校においてレク教員となる方を対象として開催している講習会。資格保有者にもスキルアップの機会として参加いただける講習会です。

開催日時 12月頃  
開催会場 オンラインでの開催予定  
費用 2万円

### ○「ニュースポーツセミナー」

日本協会加盟種目団体(5～10団体)が全国各地で開催するセミナーです。実技科目の充実に資する内容で実施します。

日程や会場などの詳細は、ホームページ等を通じて6月以降にご案内予定です。

### ○スキルアップ制度関係研修

準上級を目指す中級レクリエーション・インストラクターを対象とした研修です。都道府県開催モデルとなる研修です。準上級対象教員の方以外にも、スキルアップとして参加いただくこともできます。詳細は別途お問い合わせください。

- ・支援者研修 東京 7月11日(日)
- ・講師トレーニング  
東京 10月24日(日)  
岡山 11月21日(日)

### ○スポレク指導者 補講研修

レク・インストラクター資格等公認指導者資格をお持ちの場合、2日間受講でスポーツ・レクリエーション指導者資格を取得できる講習会です。詳細は別途お問い合わせください。

熊本(10月2-3日)、山口(11月13-14)、千葉(2月26-27)

その他、義務研修として対象とさせていただきます。研修について、随時ご案内してまいります。

#### 義務研修とは

「公益財団法人日本レクリエーション協会高等教育機関における公認指導者養成課程認定校認定審査基準」において、「5 認定を受けた高等教育機関の義務」として指定されている研修です。

## 令和3年度 新規養成課程認定校のご紹介

令和3年度入学生から新たに課程認定校に加わった学校です。



### 心理福祉学科

〒981-3107 仙台市泉区本田町 6-1

代表者：矢口 洋生

養成課程主任教員：家子 敦子

事務担当者：家子 敦子

今年度より新規課程認定校として加わりました。

当科は、心理学と社会福祉学を基盤にした学科で、今年度のカリキュラムの改定により、両領域のコミュニケーション力の発展的な学びとして本課程を採用させて頂くこととなりました。

この領域に関心のある意欲的な先生方とともに教育に携わって参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 幼児教育学科

〒611-0041 京都府宇治市慎島町千足 80

代表者 森井秀樹

課程認定校 田中真紀

事務担当 塩竈 義晴

開講から 56 年となる本学科では、2021 年 4 月よりカリキュラムを変更し、質の高い実践力を備えた保育者を養

成するため、新たにレクリエーション・インストラクターおよび認定絵本土の資格を導入しました。保育に必要なデザイン力、表現力、子育て支援力を育む教育プログラムを通して、質の高い実践力を備え保育の現場でも成長し続ける保育者を目指します。



### 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555 番地 36

代表者：服部 宏治

養成課程主任教員：市川 裕代

事務担当者：田中 範弘

本学部は、学校や地域、企業などあらゆる場面におけるスポーツ活動や運動指導を通して、人々の健康づくりに貢献する幅広い知識と高い意識を持った「地域リーダー」を育むことを目指し 2020 年度に新設されました。レクリエーション・インストラクター養成課程では、人の気持ちを理解し、コミュニケーションスキルを上げ、協働する現場で活躍が期待される人材を育成します。



## 報告：令和2年 ブロック研修（オンライン）

令和2年度のブロック研修は、オンラインで開催されました。

〔日時〕 令和3年3月7日（日）

10:00～12:40

〔会場〕 Zoomによるオンライン研修

〔スケジュール〕

10:00 開会行事

10:10～11:30 基調講演

11:30～12:40 シンポジウム

〔参加者〕 57名

〔内容紹介〕

基調講演では、立教大学の松尾哲矢氏に「レクリエーション支援者育成の動向」として、レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラム作成をめぐる取り組みについて、講演していただいた。日本レクリエーション協会の設立や日本レクリエーション運動に関する歴史を振り返りつつ、大学におけるレクリエーション教育の動向として、大学の3つのポリシーとレクリエーション公認指導者資格の認定方針を踏まえたレクリエーション科目の位置づけることの重要性について、述べられた。また、医学教育やスポーツ指導者養成におけるモデル・コア・カリキュラムを参考に、現在、レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラムについても検討中であること、その中で公認指導者、課程認定校主任教員に実施したアンケート調査や海外のレクリエーションに関する調査を踏まえ、レクリエーション指導者の基本的資質（知識・態度・能力等）、指導現場における指導態度、意識、行動等をめぐる課題について言及していただいた。

シンポジウムでは、「with コロナの新生活様式におけるレクリエーション活動のあ

り方」をテーマに、福岡大学の築山泰典氏と福岡市レクリエーション協会の吉峯紘子氏に発表していただいた。築山氏には、大学の視点からの遠隔による実習について、Webキャンプ実習を事例に、従来との違ったプログラム実践の中での学生の学習成果や教員による指導の難しさなど、遠隔実習における効果と課題について報告していただいた。吉峯氏には、協会の視点からの遠隔によるレクリエーション活動について、動画配信やオンライン等を活用した「体験の場の提供」「レクリエーションの普及」「地域活動支援」の中での事業実践における効果と課題について報告していただいた。

〔所感〕

今回の研修で、大学教育におけるレクリエーションの意義を改めて考える機会となった。レクリエーション関連科目を通じた学生の学びやレクリエーション指導者に求められる資質について、科目を担当する我々がしっかりと理解した上で、授業づくりが求められると感じた。

また、今までに経験したことのないコロナ禍での授業づくりにおいて、当たり前が当たり前でない状況の中、非常に難しさを感じていたが、先生方の実践報告を聞き、自分自身の授業ももっとやれることがあったのではと反省した。また、遠隔授業を経験したことで、授業づくりにおける視野も広がり、いつ終息するかわからない状況の中、より良い授業づくりを目指し、研修での学びを活かしていきたい。

報告：竹森 裕高（九州龍谷短期大学）

## 令和3年度 全国研究集会について

「全国研究集会」は、公認指導者養成課程認定制度の充実を図り、課程認定校相互の連携や都道府県レクリエーション協会との連携を強化することを目的に開催するものです。

今年度は、第75回全国レクリエーション大会 2021in 福島（全国レク大会）の中で実施いたします。

全国レク大会は、多数のプログラムが開催されますので、ここでは、課程認定校連絡会議の「全国研究集会」と位置付けて開催するプログラムを抜粋してご案内します。



期日 **9月17(金) 18日(土) 19(日)** 福島県立医科大学福島駅前キャンパス

JR 福島駅から徒歩5分

### 参加費と申込方法

全国レク大会専用申し込み手続きにてお申込みください。

課程認定校研究連絡会議は、**課程認定校主任教員・事務担当者各1名の方の分の参加費を補助いたします。**

補助を希望する場合は、9月15日までに必ず**事務局 (n-rec@recreation.o.r.jp) までメールにてご連絡ください。**(補助が不要の場合は連絡不要)

補助は3,000円(webエントリー)となります。内訳:(大会エントリー料1,000円+研究フォーラム参加費2,000円)



#### ○ご注意

- 主任教員・事務担当者の何れか1名が参加できない学校は、科目担当教員1名までを対象に大会参加費を補助します。
- 補助額は、web申し込みによる**参加費3,000円**とします。(FAX申し込みの場合の500円や交歓の夕べお弁当代等は対象外です。)
- 参加費補助の還付方法は、9月15日まで

にいただいたメールへの返信にてお知らせいたします。

- 1校3名以上の申込みの場合、①主任教員②事務担当者の順で参加費補填を適用します。
- 大会参加費納入後の払い戻しなどは、全国レク大会申し込み窓口にお問い合わせください。

### 義務研修対象セッション

「全国研究集会」は、課程認定校教員参加義務研修の対象講習の一つです。

対象は18日の**4、8、9**のセッションです。(1つ以上にご参加ください。参加できない方は、ブロック研修にご参加ください)

会場：福島県立医大福島駅前キャンパス

10:00 ～ 12:00	<b>8. 公認指導者養成課程での学びの効果を高める学習支援の実際</b>
13:00 ～ 15:00	<b>9. レクリエーション教育実践・研究発表</b>
15:30 ～ 17:00	<b>4. レジャー・レク学会コラボ レクリエーション教育モデル・コア・カリキュラムの構築</b>

### 情報交換・交流機会について

Covid-19の状況を勘案しながら、開催を検討いたします。詳細は改めてご案内いたします。

その他たくさんのプログラムがあります。  
レクルー5月号をご確認ください



# 日本レクリエーション協会からのお知らせ

## COVID-19 感染症に対応した対応について

COVID-19 感染症の影響を受ける学生へのレクリエーション公認指導者養成課程履修に関する緩和措置の継続について 令和3年2月25日にご案内をしております。くわしくは下記よりご確認ください。

<http://net.recreation.jp/data/topics.php?id=318>

## スポーツ・レクリエーション指導者養成など新養成課程追加の受付について

令和4年度新入学生から新しい資格養成の追加を検討されている場合は、科目内容の審査などもありますので、まずはお早めにお問い合わせをお願いいたします。

## インフォメーション ガイダンスや授業で活用！

### リーフレット

The collage consists of four leaflets. The first leaflet, 'レクリエーション資格を仕事に活かそう！', lists various fields where recreation qualifications are useful, such as childcare, education, and sports. The second leaflet, '日本レクリエーション協会について', provides information about the association's history and mission. The third leaflet, '仕事に活かせるスキルを学ぶ', features an illustration of three people and lists skills like communication and teamwork. The fourth leaflet, '1 知ってましたか？レクリエーションに資格があること', explains the benefits of having a qualification in recreation, such as being able to work in various industries.

公認指導者資格についてわかりやすくまとめたリーフレットをお送りしています。資格ガイダンスなどでぜひご活用ください。

## ガイダンス向け動画

<https://vimeo.com/user111835637>

レクリエーション科目を学ぶ特徴などを動画で開設しています。ガイダンスなどにご利用ください。

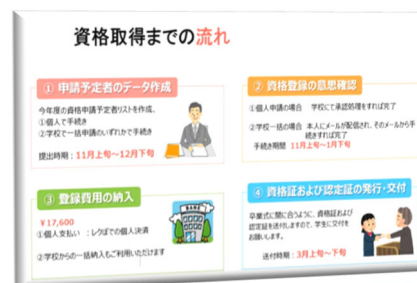
The graphic is a colorful illustration. On the left, a person with a sad face is shown. In the center, a person is engaged in recreation activities (playing a game, reading, etc.), with a speech bubble saying 'レクリエーション活動' and '遊び 楽しい 心癒い'. Below this, it says 'レクリエーション 人のコミュニケーション' and '心が元気/前向き'. On the right, a person with a happy face is shown. Text at the top right says '「レクリエーション」の授業' and 'レクリエーションの資格取得を目指し、レクリエーションの授業を履修しよう！'. At the bottom right, there is a box with the following information: '日本レクリエーション協会 公認指導者養成課程', '〒E12345 東京都 14 区 二子 二子レク ハナコ', 'NICHIREKU HANAKO', '公認資格 有効期間 2022.06.30', and '[2020.05.01] レクリエーション-インストラクター'.

## 新任の方向け説明動画

日本協会との事務手続きについてのご案内や、課程認定校研究連絡会議についてのご紹介などについて説明した動画をご用意しました。

新任の皆様は、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。

[https://youtu.be/nAMeSbo\\_JGE](https://youtu.be/nAMeSbo_JGE)



## オンライン授業での活用もオススメ『おうちで60秒チャレンジ』

自宅ですることができるからだを動かす運動あそびを集めた「おうちで60秒チャレンジ」。

レクポで発信！  
おうちで60秒チャレンジ

こんな今だからこそ  
親子や兄弟のチャレンジを「#おうちで60」で投稿しよう

QRコード

コンセプトは、「身近な物を使う！」「適度な運動量がある！」「あそび方はシンプル！」「夢中になれる！」「見ていて楽しい！」こと。新聞紙スティックを倒さないようにすばやくキャッチしたり、新聞紙リングでペットボトルをゲットしたり、目隠し足踏みをして60秒ピッタリを目指したり。

学生が自宅でチャレンジした動画を撮影して全国ランキングに挑戦したり、グループで新しいチャレンジを考案して動画作成するなど、授業やグループワークの教材としてもご利用いただけます。

「おうちで60秒チャレンジ」ホームページ：<https://www.recreation.jp/challenge>

## レクリエーション公認指導者優秀学生表彰受賞者の声

令和2年度の表彰者が決定しました。受賞者の喜びの声を抜粋して一部をご紹介します。  
また、名簿は「レクルー5月号」および、日本レクリエーション協会ホームページ内に紹介があります。<https://www.recreation.or.jp/member/process/student/RI-ES/>

### ◎レクについて学習する中での思い出はなんですか？

- ・ 集団で身体を動かすことで、一体感や達成感を得られるレクリエーションは子どもから高齢者まで幅広い世代に必要とされるツールであると感じました。
- ・ レクリエーションを企画し、実践する機会が何度かあり、繰り返す中で、声量や間などの技術が上達していくのを実感出来たことが嬉しかったです。

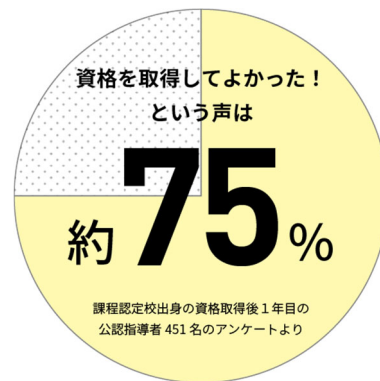


- ・ 全ての活動が初めてでしたが、指導員の皆さんのおかげで自身も楽しむことが大切だと学びました。
- ・ 留学生も交え国境や世代の枠を超えて意見を出しあいチームでレクリエーションを創造できた
- ・ コロナ禍で実際の場にあまり参加することができませんでしたが、唯一参加できた課程認定校レクリエーション交流大会はとても印象に残っています。
- ・ 私が専攻する保育以外の教師や介護福祉士といった色々な目線からレクリエーションについて学ぶことができ、実際に職場で使ってみたいと思えるものばかりでした。この交流会に参加して、資格を取得したいと考えるきっかけになったので思い出に残りました。
- ・ 様々な講師の方に来ていただいて体を動かすレクリエーション、頭を使うレクリエーション等楽しく学ぶことが出来たこと。踊ったり折り紙をしたり等。
- ・ 幼稚園教育実習の部分実習でドッチビーを行なわせて頂きましたが、子どもたちの順応速度も著しく、二日目には私が本気で投げたフリスビーをキャッチするなど、子どもたちの大きな力に大変驚かされました。
- ・ オンラインでできるレクリエーションも考え、実践できたことで、よりレクリエーションの幅が広がりました。
- ・ 高齢者を対象にした体操をクラスの人たちと考えつくったことが思い出に残っています。作った体操を実習で活かすことができたことができました。
- ・ 声を発し、歌うレクリエーション活動を行っていく中で、自分の長所を見つけることができた。
- ・ 講義でアイスブレイキングの重要性を学び実践するなかで経験を積むことでスキルを伸ばしたいと思いました。各イベントでは高齢者から幼児まで幅広い年齢層の人々とレクリエーションを通して触れ合うことができました。
- ・ 指導案を書いていく中で、相手に分かりやすく伝えるためには、どうすればいいのか、また楽しめるためにはどうすればいいのかを考えていくのが難しかったです。
- ・ スポーツテンカやマンカラなど様々な講習に参加し、友達と協力しながら楽しく学ぶことができました。
- ・ 授業を通して、幼い頃にやっていた伝統遊びをしたり、新しい遊びを学んだり、懐かしさと新鮮さがあり、とても楽しかったです。
- ・ 学んだ経験を活かして、実際の活動を行った際に、子供たちから『楽しかった』などの声をいただいた時に頑張ってたかったなと感じました。
- ・ 実際の現場とオンライン上でのハイブリッドでのレクリエーション企画を考えましたが、内容そのものよりも、オンライン上での声の強弱などの

音声、画面上ではどう見えるのか、どう見せれば画面上でもよく見えるのかという視覚表現に最も悩まされました。完璧と思っていたことが多々改善点や修正点があり、生ものであるレクリエーションの難しさを痛感しました。ただ、企画の内容を考えている最中は、私自身もワクワクして楽しかったことが思い出されます。

・ 人前でレクリエーションをすることが少し恥ずかしい気持ちもありましたが、相手に伝えるには自ら楽しむことを知り、伝える喜びを感じるようになりました

・ 自分の提案したレクリエーション活動を一緒に授業を受けていた受講生が全力で楽しんでくれている姿を見ることができ、自分の自信に繋がった経験が思い出に残っています。



### ◎今後、どのようにレクを活かしていきたいと思いますか

- ・ 職場で利用者を盛り上げ、レクリエーションをして楽しいと思える介護職になりたい
- ・ 私は認定こども園に於いて保育教諭として働きます。その中で、様々なレクリエーション



の活動と遊びを実践していきたいと考えております。レクリエーション協会から様々な遊びの案内を頂いてますので、園に於いていろいろと実践してみたいと思います。活動や遊びの中で、『子どもたちにとってどういう部分が面白いのか？』を常に考え続け、子どもたちがより楽しめるように指導をしていきたいです。

・ デイサービスに勤務するので、利用者様に寄り添いつつ、目的をもったレクリエーション

を提供出来るように頑張りたいです。

・ レクリエーションは人の心を豊かに、笑顔に、幸せにするひとつの方法だと考えています。春から高校の保健体育教員として働きます。これまで学んできた実践的なレクリエーションの知識を活かして、生徒の心を笑顔に、豊かにしたいです。

・ 入居者様に楽しんでもらいながらも、安全に配慮し、健康維持や生活向上に活かしていきたいです。



・ 道具のない遊びは様々な場面で活用できると思うので、道具のない遊びを広めて行けたらいいなと思います。

・ スポーツクラブに就職したため伝達の仕方や表情といったことを工夫して就職先でも生

かしていきたいと思います。

- ・ 特別養護老人ホームへ就職予定なので、入居者様とのレクリエーションで活かしていきたいです。

・ 介護予防としての集団レクリエーションや個別のリハビリにレクリエーション技法を取り入れるなど多職種連携に基づき利用者の方が笑顔で取り組むレクリエーションの創造性を広げる取り組みに活かしたい。

・ 子どもから高齢者の方まで幅広く、製作活動や、体あそびなど教えていただいたのでそれを実践して行きたいと思いました。

・ 4月から保育士として働くので、学んだ沢山の遊びを、提供できたらと考えています。ただ遊ぶだけでなく、そこから一歩発展させられるように子どもの様子を見ながら、子どもが1番楽しめる遊びを見つけていけらと思います。また、レクリエーション・インストラクターは対子どもだけのも

のではないと知ったので将来的には子どもからお年寄りまで幅広い世代に遊ぶ楽しさを味わってもらえたらと思います。

- ・ 子どもと大人を繋ぐ地域活性化のような形で活かしていけたら素敵だなあと考えています。
- ・ 就職して働くようになってから様々な人に応じてその人らしく楽しくレクリエーションができるよう色々な角度からのレクを実施していきたい。
- ・ 幼稚園教諭として働くので、こどもが楽しめるレクリエーションを実践していきたいです。雨の日でもできる室内遊びや空いた時間のちょっとしたレクリエーションも取り入れていきたいです。
- ・ 音楽を中心とした種目を主に、多くの方々へ笑顔や元気を届けていきたい。
- ・ 介護施設利用者様が、毎日を楽しく、生きがいを持って暮らしていけることの一助になればと思います。
- ・ 利用者を笑顔に出来また、自

分も笑顔になれるような時間を作るためにレクの経験を活かしていきたい。

- ・ 知的障害児の支援に関わる仕事に就くので、レクリエーションの技術をうまく活用して子どもたちと楽しく活動したいと思います。
- ・ 学校で学んだことを忘れずに、安全で皆が楽しめるようなレクリエーションを提供出来るようにしたいと思います。
- ・ 運動を苦手としている方たちがいるところで、レクリエーションを行い、運動を少しでも好きになってもらえるようなプログラムを考える実践していきたいと思います。
- ・ 入職してのレクリエーションの時間は勿論の事ですが、場を楽しませ自分も楽しむ気概は普段のコミュニケーションにも必要不可欠な事だと思います。その精神を胸に普段の生活にも活用できればなと思っています。
- ・ 職場で入所者様の生活に積極

的にレクリエーションを取り入れ、入所者様の楽しみや機能維持に努め、QOL 向上に活かしていきたいと思います。

### 「レクぼ」学生会員登録 ご活用ください!

学生が「レクぼ」に学生会員として登録することで、「レクぼ」内のすべての情報を見られます。ぜひ学生会員登録をご案内ください。

<https://www.recreation.jp/student>



## 楽しさを通した心の元気づくり+補助教材

2,200 円



テキストと実用的な補助教材のセットで効果的に学べます。

〈補助教材の魅力〉

- 1.レクリエーション活動(ゲーム)を動画で確認・習得できる!
- 2.動画と展開案で支援技術活用の理解が深まる!
- 3.ホスピタリティの理解を深める演習に活用できる!
- 4.プログラム立案の見本の掲載で対象者や場面に合った立案方法がわかる!
- 5.指導案(進行案)の見本掲載で、レクリエーション活動実施のコツがわかる!

テキスト A4 判 ●88 頁 本体価格 ¥1,800+税

2017 年 3 月初版発行 2020 年 4 月 24 日第 4 刷

補助教材 A4 版本誌 44 ページ 2021 年 1 月 15 日初版発行

[https://shop.recreation.jp/products/detail.php?product\\_id=465](https://shop.recreation.jp/products/detail.php?product_id=465)